

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表: 令和2年2月15日

事業所名 おひさまSun

保護者等数(児童数) 24 収数 12 割合50%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	5	1		本気でボール遊びの様ですが、室内に居る他の子に当たらないのか心配です。 こども達も大きくなるとやや狭く感じる。 活動内容によって充分な広さではない。	・ボール遊び等は室外で行えるようにしています。 ・お散歩や行事等設定しながら活動しています。 ・子ども達と一緒にどのように遊ぶ形がいいか話をしたりしながら活動を行っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12					10:2に対して、お子さんに合わせて、+1~2人配置するようにしています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	4				全ての方へのバリアフリー化は出来ていないが、心のバリアフリーに心掛けています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12					保護者との話等を通して、振り返り等をした上で、活動へ繋げるようにしています。 話し合いを中心とした、ソーシャルスキルや自信へ繋げることを大事にしています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	1			夏休みにみんなでプール、外食に行くという活動があったが、たまには外食に行くという活動があってもいいと思う。	外食に関しては、目的を学年に合わせて検討しているようにしたいと思います。
	6 児童クラブや地域の子どもと活動する機会があるか	8	3	1		公園や図書室で空間を共有するだけでも、交流できると思う。	地域交流に関しては、あいご会と年1回もちつき会を計画しました。 とても楽しんでくれています。今回は、もちつきの時間だけでなく、交流の時間を設けていきたいと思っています。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12					振り返りや随時話をさせてもらっています。 負担金等につきましては、領収書をお渡ししています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	1			学校でのことも把握してそれに応じて頂いているので有り難い。	終了時間の15分前に振り返りの時間を設け、全体へ活動のねらいやお子さんの様子をお伝えするようにしています。個別でのお伝えもしています。 また、年に1回小学校連絡会を行い、情報交換し、保護者の方へお伝えするようにしています。 個別支援計画を通し、お話しできるように心掛けています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12				不安な事に対して、親身に先生達が話を聞いてくれています。 育児のちょっとしたことでも相談させて頂き、有り難いです。	保護者の方といろいろなお話しが出来るように心掛けています。 育児のこと以外のお話しもよく聞く様にしています。

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	1		色々聞きたいことなど、興味のあることに支援して頂いております。	保護者同士お話しする時間に関しては、児童発達支援の時よりも少なくなっていると思います。振り返りの時間を設け、お話しできるようにしています。年に4回懇談会を設けるようにしています。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12				意見や要望を頂いたときは、すぐ対応できるようにしています。なかなか至らないところもあるかと思いますが、適切に行うように心掛けています。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12				送り迎えを保護者の方に行ってもらっているため、情報等を直接伝えるように心掛けています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1		献立表も欲しい。ホームページがあるので、必要なことが分かり、準備するのが助かっています。メール連絡もできるので助かります。	献立表等用紙で用意し、更衣室・分離室に置くようにしています。すみません。ない時は、お声掛け下さい。
非常時等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	12				契約の際に説明を行い、ビデオやホームページ等ある場合は、随時確認を行うようにしています。知りえた情報は口外しないように職員へ周知しています。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12				契約の際に説明し、掲示するようにしています。随時お知らせ等で掲示するようにもしています。
満足度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	4			学童Gで避難訓練を行う時もあります。マメールを利用した避難訓練に関して、今後検討しています。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	8	4		自宅周囲のお友達との時間を子どもが優先させるようになり、利用に積極的でない。毎回、楽しみにしています。仕事が好きであり、作りたいものが作れると喜んでいきます。成長してきているようなことを感じるようになったので、頑張っているところもあると思う。基本楽しみにしていると思う。	子ども達が安心して楽しめるように心掛けています。少しずつ地域の子ども達と遊べるようになることは、とてもいい事だと思っています。いつでも相談できるように体制作りを心掛けているので、何でもおっしゃって下さい。
	18	事業所の支援に満足しているか	12			いつも大変ありがとうございます。細やかな支援をして頂き、ありがとうございます。	至らない点もあるかと思いますが、子ども達や保護者の方が安心して相談できるように心掛けています。いろいろな意見や要望を頂けてありがたいです。今後も工夫していけるようにしていきたいと思っています。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年2月15日

事業所名:おひさまSun

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			基準上より広いスペースを確保しています。人数によって狭く感じることもあると思いますので、お散歩活動等を取り入れながら子ども達が楽しく活動できるようにしています。
	2 職員の配置数は適切である	○			職員配置を10:2のところを、子どもに合わせて10:4にしています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		全ての方へのバリアフリー化は出来ていないが、心のバリアフリーに心掛けています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			定期的に業務改善について会議で話し合いを実施しています。必要に応じて朝礼にて伝え、職員の共通理解に努めています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			迅速な対応や地域交流等に関して改善に努めました。懇談会の機会にも意見を聞く機会を設け、今後も改善に努めていきたいと思っています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページに公開し、懇談会にて保護者へお伝えできるようにしています。また、今後は分難室等にファイリングしていつでも見て頂けるようにしていきたいです。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	第三者委員会での評価や多機関連携勉強会にて意見を頂き、改善に努めています。
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			各職員が時間を確保しながら研修に参加しています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			連絡表や個別支援計画を通して、ニーズに基づく計画作成を行っています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		医療機関等で行った結果を基に適応行動の状況を把握しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			体制職員と打ち合わせを行い、考えられるようにしています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			こども同士の話し合いを中心に活動を行っています。お買い物の活動や季節等の活動も大事にしています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			通常日や長期休暇等に応じて、子どもの状況に合わせながら設定しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別設定等計画として行っていないが、子どもの状況に合わせて個別の設定を行うようにしています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			職員で打ち合わせを行い、確認することや子どもの関わり等についても統一できるようにしています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			振り返りを行いながら次に繋げられるようにしていることや保護者から話があったことも職員で共通理解を行い、対応を考えています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			個別日誌や全体日誌を通して、記録を残し、話し合ったことの次の支援方法も記入するように心掛けています。ソーシャルスキルトレーニング等しっかり勉強した上で、年齢や学年に応じて活動内容を考え、記録の仕方や支援を工夫していきたいと思っています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			振り返り等の際に、話しをさせてもらっています。話については、不十分なところがあり、すみません。必要に応じて随時話し合いを行っています。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			様々な活動を組み合わせています。反省を活かし、職員会議や研修等で支援を工夫するようにしています。	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者を中心に参加しています。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者を介して話を聞き、対応等を一緒に考えたり、年1回の小学校連絡会等にて情報共有しています。連絡会の話をタイムリーに保護者へお話しが出来ていない時があるので、お話しができるように心掛けていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	今年度は対象児がいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		連絡会等を行い、情報共有しながら相談支援事業所と連携を図り、相互理解に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	今年度は対象児がいませんが、必要がある時は、保護者を介して、個別支援計画等の情報をお渡ししています。また、電話で情報共有する場合もあります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		関係機関との連絡会への参加や様々な研修を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		隣接している保育園との交流や学童もちつき会等あいご会と関わる行事を行っています。今後児童クラブ等との交流機会を設けていきたいと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		メンバーとなっており、連絡会等に積極的に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者が送迎をしている為、日々の様子や子どもの発達の状況等についてその都度話をするように心掛けています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		懇談会等、専門療法士の先生から講話等を頂く機会を設けています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		学童説明会や懇談会にて話を行うようにしています。随時説明するようにも心掛けています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		専門療法士による相談会や懇談会、通常の活動への専門療法士の参加等を通して必要な助言や支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		家族通園や行事への家族参加、懇談会を通して保護者同士の連携を支援しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		その日の対応が難しい場合は、別日に面談等を行い、話ができるように心掛けています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		お便り、参加表、HPの更新を定期的に行い、情報を発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	○		契約時に個人情報の取り扱いについて保護者と確認を行っています。今後も気を付けて行っていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子ども達に合わせて対応・支援ができるように複数で入り、行っています。保護者の振り返りの際に直接話をして配慮できるようにしています。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		町内会への参加や行事を計画し、理解をもらえるようにしています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		掲示し、周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難訓練を行い、保護者や職員に周知しています。マメールを使用しての訓練を行うことを検討しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部研修、内部研修、資料回覧、読み合わせ等を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	基本、身体拘束を行っていません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師の診断書に応じて、除去食を提供しています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		こどもの外傷記録簿を作成し、回覧、周知しています。今後事業所の会議等で深めていきたいです。	